

学習指導過程 4 つのポイント

「考え、議論する道徳」の学習指導過程を構想する際には、以下の4つのポイントを押さえることが大切です。



道徳的価値の理解を基に

問題意識を持たせる

道徳的価値に根差した問題について、児童生徒にこれまでの経験と照らし合わせて考えさせ、ねらいとする道徳的価値について、考える必然性を持たせます。

例：ねらいとする道徳的価値をどのように捉えているか、実現できているか等について考えさせる。

導入の工夫

自分との関わりで考えさせる

ねらいとする道徳的価値について、児童生徒に自分の問題として受け止めさせ、自分の事として考えさせます。

例：教材の登場人物を自分に置き換えて考えさせる。日常生活や学校生活等を想起して考えさせる。

展開の工夫

自分との関わりで考えさせる学習

多面的・多角的に考えさせる

物事を一つの見方ではなく、様々な見方で考えさせたり、様々な角度から考察させたりすることで、ねらいとする道徳的価値についての考えを深めさせます。

例：様々な登場人物の立場で考えさせる。
ねらいとする道徳的価値を支える様々な根拠を考えさせる。

展開の工夫

多面的・多角的に考えさせる学習

自己(人間として)の生き方について考えさせる

自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることを通して形成された道徳的価値観を基盤として、自己(人間として)の生き方について考えを深めさせます。

例：学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめ、これからへの思いや生き方について考えさせる。

終末の工夫